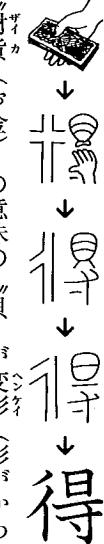


# 得

四年 画数 11  
筆順 写得得  
オントク  
えりる・うる

成り立ち



「財貨（お金）」の意味の「貞」が変形（形がかわる）した「旦」と、手の意味の「寸」と、「行く」意味の「彳」とを組み合わせて作った字です。

「出かけて行つて、財貨を手に入れる」という意味の字です。「える（手に入れること）」という意味（例獲得、損得、取得、役得）、また、「心にえる（わかる）」という意味（例利益、取扱、心得、納得）などに使われます。

損得、役得、拾得）や、「もうける」という意味（例利益、取扱、心得、納得）などに使われます。

損得、役得、拾得）などに使われます。

# 毒

四年  
画数 8  
筆順 四年  
圆数 8  
ワシ  
オンドク

成り立ち



『生きる』という意味の「生（年45）」と、『母』という字とを組み合わせて作った字です。『死にかかる母親を生きかえさせるほど強い生きのある薬』を表した字です。『劇薬』のことを表した字です。

『劇薬』は、少しだれ多く飲みすぎると、生命にきけんがあります。それで、「体に悪いもの」のことを毒といふようになりました。『例毒草、猛毒』。

また、『毒舌』、『毒筆』というように、「人の心をきずつける悪口』の意味にも使われます。

熟語例

△毒草（食べると体の調子が悪くなる草。毒のある草。）

△猛毒（猛烈な毒。きさめの激しい毒）

△毒舌（人の心をきずつける悪口や皮肉。また、そういう悪口や皮肉を言う人という意味です。）

△毒筆（人の心をきずつけるために書いた文章。また、そういう文章を書くこと。）